

各位

東亜合成株式会社

「2050年カーボンニュートラル（実質ゼロ）」目標設定について

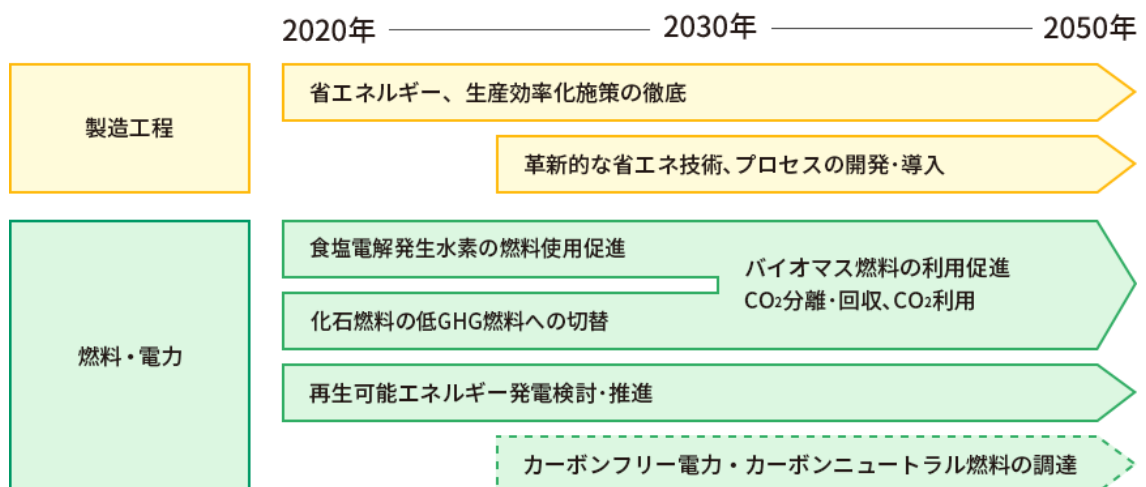
東亜合成株式会社（代表取締役社長：高村 美己志）は、「2050年カーボンニュートラル（実質ゼロ）」を目標に掲げるとともに、TCFD提言に沿った情報をホームページにおいて開示いたしましたのでお知らせいたします。

(<https://www.toagosei.co.jp/csr/reduction.html>)

当社は、これまで温室効果ガス（Greenhouse gas、以下 GHG）排出量削減の目標を「2030年に2013年比26%削減」とし、GHG排出量削減に注力してきました。その結果、2020年のGHG排出量は、基準年である2013年（411千トン）比で19%削減し、334千トンとなりました。一方、世界的に気候変動リスクが高まる中、排出量削減の加速が求められています。

このような中、GHG排出量削減目標を見直し「2030年に2013年比50%削減（205千トン）」、「2050年にカーボンニュートラル（実質ゼロ）」とし、GHG排出削減ロードマップを作成いたしました。

GHG排出削減ロードマップ





同時に、サプライチェーンを含めた3つの区分（Scope1-3）でのGHG排出量を算定し、TCFDガイダンスに沿ったシナリオ分析により、気候変動が当社の事業に及ぼすリスクと機会を把握し、今後の対応について明確にいたしました。

これらを踏まえ、新たな目標の達成に向け、以下を今後の対応の柱として、様々な面から施策を検討、推進していきます。

- ・低エネルギー代替製造プロセスの開発、生産設備の自動化、省人化
- ・低GHG燃料への転換、再生可能エネルギーの導入
- ・自製水素の有効活用推進、水素関連事業拡大
- ・気候変動対策に資する製品（蓄電池関連、新素材等）の開発

当社は、気候変動抑制への取組みを最重点課題として、これからもGHGの排出量削減を意欲的に推進してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

東亜合成株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話：03-3597-7215